

どこから、どこを見ているイメージかな？

- ① 市役所から
二荒山神社
- ② 二荒山神社から
宇都宮城址公園
- ③ 八幡山から
大イチョウ

力をもつ地域があります。

経済成長や人口増加が著しかったかつての日本では、多くの都市で、中心部への人口集中が進み、過密による様々な都市問題が発生しました。やがて、自動車の普及や交通網の整備などにより、新しい住宅地や、大きな駐車場をもつ大型店舗などが、ゆとりのある周辺部につくられるようになりました。人口は都心から郊外へ移り、中心部の活気が失われる一方で、市街地が郊外に薄く広がるような都市の姿が見られるようになりました。近年は、比較的新しく開発された地域でも高齢化や少子化、建物や道路などの老朽化、鉄道やバス路線の廃線などが問題となっています。また、人口減少に伴う財政の縮小により、道路や水道など、古くなった社会資本のつくり直しの難しさも指摘されています。

宇都宮市では、どのような移り変わりが見られてきたのでしょうか。そして、今後、まちの姿や人々の生活は、どのように変化していくのでしょうか。



図書館や病院だって、なくなったら困るけれど、多くの費用がかかることだから、人口減少に伴う課題に応じて、効率と公正、希少性、持続可能性などの視点から考えていかないと。

確かに、人が集まりにくい地域に、新たな施設ができて、効率がよいとはいえないかも。



それから、人口減って、よくないことばかりじゃないよね。自動車の利用などが減れば、CO₂の排出量も少なくなるから、環境への負荷も軽減されるんじゃないかな。

2 持続可能なまちづくりの基盤「NCC」



こんなポスターを見かけたよ。



ライトラインが西に伸びると、どんな変化が起こるんだろう？

①現代日本の特色から見た宇都宮市

日本が直面している大きな課題の1つに、少子高齢化を背景とする急激な人口減少があります。人口の減少は、地域経済や財政を衰退させ、身近な店舗の閉店や医療機関の閉鎖、イベントの廃止などが相次ぎ、これまでどおりの生活や、まちの魅力やにぎわいも失われていきます。例えば、公共交通の利用者(需要)が少なくなると、鉄道やバスの事業者は、運行本数(供給)を減らそうとするため、気軽に出かけることが難しくなります。こうなると、自転車やマイカーなどの移動手段を自由に使うことができない人々が、健康や体力を保つことへの悪影響なども予想されます。

また、自動車の利用に伴う排出ガスや交通渋滞などは、国内外を問わず代表的な都市問題です。宇都宮は、交通手段のうち、自動車占める割合がとて高いため、公共交通と自動車共存できる社会への転換が課題となっています。



道路や駐車場などの整備が進んで、快適になるほど、マイカー利用者は増え続けるんじゃないかな？



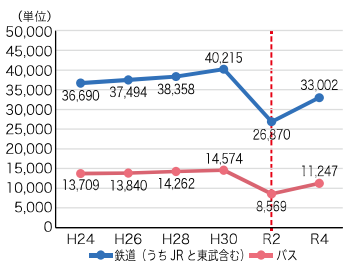
そうすると、公共交通や環境の問題はどうなるのかな？



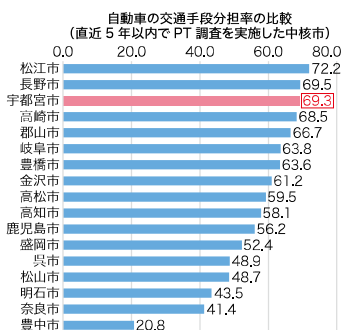
でも、いつまでもマイカーを持ち続けたり、自分で運転したりできるわけじゃないよね。

②都市の様子の移り変わりや人々の生活への影響

現在までに多くの町や村が合併しながら発展してきた宇都宮市には、農業や工業が盛んな地域、観光資源や伝統行事をもつ地域、中心市街地や、複数の交通網がつながる地域など、多種多様な魅



↑ ●宇都宮市の公共交通利用者数(年間)



↑ ●交通利用手段の状況

③宇都宮が目指す「ネットワーク型コンパクトシティ」

多くの人々が、生まれ育った土地で、いつまでも、幸せに暮らしたい、住む・憩う・学ぶ・働くなど、日常生活で中心となる場所が快適であってほしい、という願いをもっています。

そこで、宇都宮市では、誰もが快適で暮らしやすい持続可能なまちづくりが必要であると考え、地域の経済・産業の持続的な発展や地球環境への配慮など、SDGsの達成に貢献していく視点も大切に、「NCC(ネットワーク型コンパクトシティ)」の形成を進めています。

これまでの都市の成り立ちや現状や課題をもとに、宇都宮市全体やそれぞれの地域の発展を目指すため、中心市街地や駅周辺、産業や観光に魅力がある地域などを拠点として集約(コンパクト化)し、それらを利用性の高い公共交通などで連携(ネットワーク化)した「NCC」は、「スーパースマートシティ」の土台です。

2023(令和5)年8月、東西方向の基幹公共交通となるライトラインの開業によって、南北方向の鉄道との連携が強まりました。これに伴って、複数の交通手段を乗り継ぐための拠点(トランジットセンター)を中心に、バス路線の新設や地域内交通の充実、端末交通の導入などの取り組みが進められています。さらに、交通系ICカード「Iotra」によって、乗り継ぎの利便性が向上するなど、誰もが移動しやすいまちへと大きく前進しています。ライトラインは電気モーターで駆動し、CO₂などのガスを排出しないことや、自動車やバスと比べて一度に多くの人を運ぶことができるので、環境にやさしいまちづくりへの貢献が期待されています。

まとめるひろげる



宇都宮市では、現在の状況や課題、将来の予測や人々の願いなどをもとに、夢や希望がかなうまち、そして、SDGsの達成にも貢献できるまち「スーパースマートシティ」の実現に向けた取り組みが進められています。その取り組みは、どんな効果をもたらしているのでしょうか。

例えば、活気あるまちをテーマに設定した場合には、まずは、ライトラインの開業後の変化や他の自治体の取り組みなどを調べながら、西に伸びた変化や、身近な地域や自分の生活との関わりについて考えられるように、情報を集めていきましょう。



拠点化が進むと、宇都宮はどんなまちになるのかな？

観光地

バス路線やタクシー、シェアサイクルなどにより、市民や来訪者が便利に周遊できます。



宇都宮市に住んでいる誰もが移動しやすいまちになるといいよねー！



中心部

鉄道やLRT、循環バスなどの公共交通が充実し、公共交通と徒歩で快適に移動できます。



各地域(郊外部など)

鉄道やバス路線、地域内交通などを乗り継いで移動できるとともに、自転車や自動車を適切に使って移動することができます。



産業地域

LRTとバス路線、タクシー、カーシェア、サイクルシェアなどを利用して円滑に通勤できます。



階層性のある総合的な交通ネットワーク

鉄道

南北の基幹公共交通として、都市拠点と南北の地域をつなぐ鉄道



LRT

東西の基幹公共交通として、鉄道とともに、公共交通全体の基軸であるLRT



バス

地域拠点や観光拠点などと都市拠点を結ぶ、幹線バス路線や主要な施設を連絡する支線バス



地域内交通

通院や買い物など地域拠点での日常生活の足としての地域内交通



自転車

“安全に” “快適に” “楽しく” “健康とエコに” 公共交通と連携して使える自転車



鉄道、LRT、バス、地域内交通、自転車など各種交通手段を円滑に乗り継げる

トランジットセンター



バスなどからの乗り継ぎイメージ



自動車などからの乗り継ぎイメージ



自転車などからの乗り継ぎイメージ





芳賀・宇都宮 LRT (ライトライン) ってどんな乗り物？

芳賀・宇都宮 LRT (ライトライン) は、全国初の全線新設の LRT であり、日本で 75 年ぶりの路面電車として、2023 (令和 5) 年 8 月 26 日に開業しました。

JR 宇都宮駅東口から東へ、芳賀・高根沢工業団地まで約 14.6km を走行しており、現在は、JR 宇都宮駅西側への延伸に向けて、整備を進めています。

スゴポイント①

国内最大級の大きさで輸送力抜群！

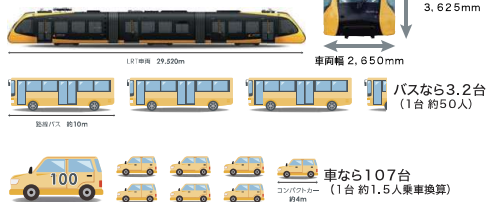
車両の長さは約 30m です。これは日本の路面電車の車両としては最大級！

1 編成約 160 人を輸送することが可能です。

■ 外装



■ 輸送力の比較



スゴポイント③

時間に正確で移動がもっと便利に

ライトラインは、軌道と呼ばれる専用の空間を走るため、悪天候や他の交通手段による渋滞の影響を受けにくく、時間に正確な運行が可能です。また、通勤・通学などのピーク時は約 6 分間隔、オフピーク時は約 12 分間隔で運行しています。そして、JR 宇都宮駅を発着する新幹線の始発・終電に接続しやすいよう、朝 4 時台～深夜 0 時までで運行しています。

スゴポイント④

環境にもやさしい乗り物

家庭ごみの焼却や家庭用太陽光等により発電された地域由来の再生可能エネルギー 100% で走行する、「ゼロカーボントランスポート」を実現しています。これは世界でも類を見ない取り組みであり、国内外の多くの地域から注目を集めています。



知ってる？ライトラインの豆知識情報

LRT は「Light Rail Transit」の略称です。ライトラインが将来にわたり、地域に愛され、支えられていく魅力的な公共交通となるよう、市民・町民の方々にアンケートを行い、車両デザインや愛称を選定しました。



車両は、地域固有の風土を感じる「雷の稲妻」をモチーフにデザインされました。また、愛称であるライトラインは、「雷都+LINE」に由来しており、「(未来への)光の道筋」といったメッセージも込められています。

■ シンボルマーク

まちの顔となる「独自性」、地域固有の風土を感じる「雷の光(稲妻)」、将来イメージを牽引する「先進性」を表現しました。

■ シンボルカラー

印象性が高く、窓(稲妻)や窓を受け響かした稲妻をイメージする「黄色」としました。

■ サブカラー

シンボルカラーを引き立てる色彩として、黒から白までの無彩色としました。

一般席 大谷石風の床

高級感のある黒合皮を使用。バケット型で 1 人分のスペースをゆとりと確保

地場産材である大谷石を連想させる床材を採用し、足元からも地域の魅力を発信

■ ロールカーテン

宇都宮の伝統工芸である「宮染め」のイメージを表現

■ 隠れカメラ

ロールカーテンやシートの一部には雷都を象徴する雷デザイン!

■ こんなところにも!?

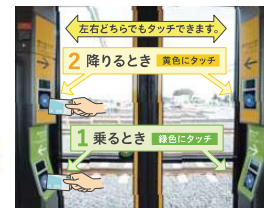
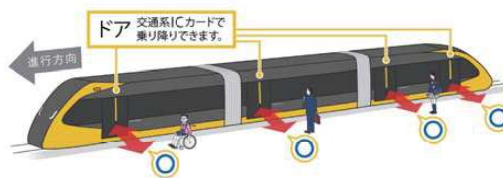
ボックスシートの床に大谷石の柄を取り入れたり、ロールカーテンに宇都宮の伝統工芸である宮染めのイメージを表現するなど、沿線の風土を感じさせる地域性を反映しています。



スゴポイント⑤

支払いがスムーズ

車両すべての扉の両側に、乗車用・降車用リーダーを上下に設置し、交通系 IC カードで全扉からのスムーズに乗降する「信用乗車(セルフ乗降)方式」を全国で初めて採用しています。交通系 IC カード 1 枚で、ライトラインやバス、鉄道などの運賃を支払うことができるので、スムーズな乗り継ぎも実現し、宇都宮の公共交通がもっと使いやすくスマートになっています。

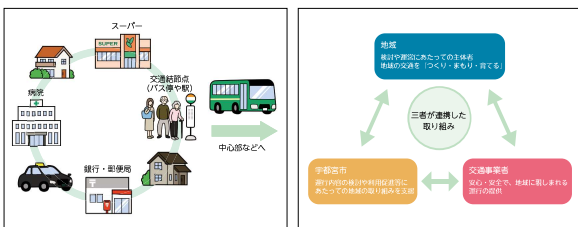


▲車両の全扉の両側に設置された IC カードリーダー



コンセプト

- ①乗合タクシーを活用し、LRTやバスなどの公共交通が充実していない地域における、日常生活の移動手段を確保します。
- ②運行エリアは原則地域内とし、鉄道駅やLRT、バス停留所に接続することで、地区外への移動を可能にします。
- ③自分たちの交通を“つくり”“まもり”“育てる”といった意識のもと、検討から導入に至るまで、地域住民による運営組織が主体となり、市・交通事業者と三者で連携を図りながら取り組んでいます。



① 地域内交通のイメージ図

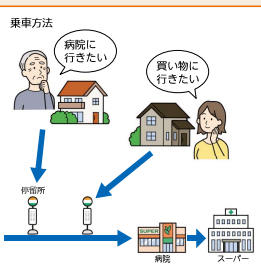
宇都宮は、デマンド型が多いんだって。それぞれの方法には、どんな特徴があるんだろう？

地域内交通の種類と特徴

定時定路型

路線と通過時刻を定めた運行（路線バスと同じ）

- 一般的に、住宅が密集した地域に適した運行形態
- 停留所まで歩き乗り合うことで、多くの利用者を運ぶことが可能
- 決まった時間に決まったルートを行

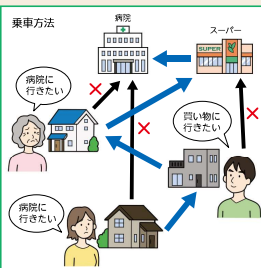


② 定時定路方式イメージ図

デマンド型

路線は定めず、予約状況に応じ、経路を定めて運行

- 一般的に、集落が点在した地域に適した運行形態
- 運行するエリアと目的地をあらかじめ設定。特定のルートは持たず、予約に応じてルートを設定、運行
- 自宅⇄目的地、目的地⇄自宅のドア・ツー・ドアの送迎

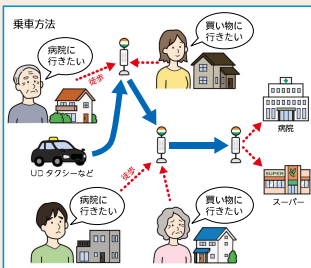


③ デマンド方式イメージ図

ミーティングポイント型

路線は定めず、予約状況に応じ、停留所間で経路を定めて運行

- 一般的に、住宅が密集する地域に適した運行形態
- 停留所まで歩き乗り合うことで、多くの利用者を運ぶことが可能
- ルートを固定せず、予約に応じて地区内に細やかに設置した停留所を柔軟に運行



④ ミーティングポイント方式イメージ図

「清原さきがけ号」



中村 正博さん
きよはら地域内公共交通運営協議会 会長

「清原さきがけ号」は、平成20年に運行を始めて15年以上が経っており、清原地区に住む人々にとって、欠かすことのできない交通手段として定着しています。清原地区は、坂道が多いという特徴がある上に、今まで公共交通網があまり整備されていなかったため、足の悪い人や自動車免許を持っていない人にとって移動が困難な地域でした。だからこそ、清原地区にとって地域内交通は重要な交通手段なのです。

「清原さきがけ号」は、利用者の普段の買い物や病院への通院などに利用されていますが、高齢者のコミュニティ形成の場としても重要な役割を担ってお

り、高齢者が地域の人たちとのつながりを持つことで、地域の活性化や防犯・防災意識の向上にもつながっています。

地域内交通を運営する上で心がけているのは、「利用者の声をしっかりと聞く」ことです。「清原さきがけ号」は、住宅街や団地を多く通るため定時定路方式を採用していますが、これまで利用者のニーズを踏まえながら、ルート上の乗り降りをする、ライトラインの開業に合わせてルートの見直しやダイヤの変更を行うなどの改善を図りながら、利便性を向上させてきました。今後とも利用者の声に耳を傾けながら、より良い「清原さきがけ号」になるよう努めていきたいと思っています。

各地区における取り組み状況

清原、城山、瑞穂野、国本、篠井、富屋、横川、雀宮、上河内、河内、平石、豊郷、姿川、石井、明保、細谷・上戸祭の各地区において、地域内交通を運行しています。

- 凡例
- …導入地区
 - ▨ …導入検討地区
 - …地区市民センター

【篠井はるな号】
試験運行：H23.11～
本格運行：H24.11～

【わくわくとみや号】
試験運行：H24.11～
本格運行：H25.11～

【かみかわち愛のりユッピー号】
試験運行：H25.10～
本格運行：H26.10～

【さぎそう河内号】
試験運行：H26.2～
本格運行：H27.4～

【とよさとまほろほ号】
試験運行：H28.3～
本格運行：H29.3～

【ひらり号】
試験運行：H28.3～
本格運行：H29.3～

【板戸のぞみ号】
試験運行：H21.4～
本格運行：H22.4～

【清原さきがけ号】
試験運行：H20.1～
本格運行：H20.8～

【おでかけちゅんちゅん号】
試験運行：H25.9～
本格運行：H26.10～

【よこかわいきいき号】
試験運行：H24.12～
本格運行：H25.12～

【みずほの愛のり号】
試験運行：H23.3～
本格運行：H24.4～

【清南スマイル号】
試験運行：H29.6～
本格運行：H30.4～

【あの町この町号】
試験運行：R5.6～
本格運行：R6.6～

【すがたがわにここ号】
試験運行：H30.3～
本格運行：H31.3～

【いちよう号】
実証運行：R8.3～

【くるっと石井号】
(定時定路方式)
試験運行：R2.4～

【スマイル石井号】
(デマンド方式)
試験運行：R2.4～

※清原地区については、「清原・光が丘団地」、「板戸町」、「鶴山町・朝日ヶ丘・桑島町・上籠谷町・氷室町・清原・道場宿・竹下町・満美六町」で先行的に導入

3 未来へ羽ばたく宇都宮 1 よりよい宇都宮を目指して